

風車がもた

らすものは

東伊豆町大川

寛張進

景勝の地、伊豆半島南部に七十基もの巨大風力

発電施設誘致を進める県の計画が現実のものになってきた。

東伊豆町熱川の天目山の十基はすでに完工、試運転に入っている。三筋山の二十五基も建設が急がれている。さらにここに来て南伊豆町の石廊崎周辺の十七基、西伊豆町の西天城高原の十七基についても環境影響評価案が縦覧に付されるといふ。建設のGOサインが出されたのも同じことだ。これら風車建設のほとんどは国が売電業者に事業費の三分の一の巨額を補助する助成事業である。

せる。西天城高原もたおやかな山並みが美しい。そこに突如巨大風車が林立する。伊豆半島南部が風車半島と化すようなものだ。観光客はそれを見てどう思うだろうか。観光産業への悪影響が心配される。風車は近隣住民に健康被害を続出させる。熱川天目の風車が実証中だ。直接人におよぼす影響が大きいのである。風車は伊豆に何をもたらすか、住民はよく考えるべきだ。

伊豆は観光と漁業を主産業とする地域だ。住人は自然の恩恵によって生活の糧を得ている。また観光は豊かな温泉、新鮮な海産物、美しい海と山の風景によって成り立っている。なかでも石廊崎周辺の複雑に入り組んだリアス式海岸の絶景と、東伊豆の温泉、天城連山と海が融合した雄大な景色は伊豆を象徴する景観であり、観光客を感動さ